



2021年12月22日

各 位

会 社 名 シキボウ株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 尻家 正博
(コード番号 3109)
問合せ先 執行役員
コーポレート部門長 伊丹 秀典
(TEL 06-6268-5421)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書提出について

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年11月9日にプライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、別紙のとおり「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

(1) プライム市場上場維持基準への適合状況

当社の移行基準日におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっております。なお、「流通株式時価総額」が基準を充たしておりません。

	プライム市場上場維持基準	当社の状況 (移行基準日時点)	適合状況
株主数	800人以上	10,904人	○
流通株式数	20,000単位以上	96,778単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	92.3億円	×
流通株式比率	35%以上	81.9%	○
1日平均売買代金	0.2億円以上	0.6億円	○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

(2) 計画期間

当社は、「流通株式時価総額」について、次期中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の期間を計画期間とし、最終年度である2025年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題および取組内容

プライム市場上場維持基準の充足に向けた取組の基本方針および取組内容については、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載の通りです。併せて、事業法人等が保有されている株式について、非流通株式から流通株式への移行を促進し、流通株式を増加させる取組も進めてまいります。

以 上

新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書



シキボウ株式会社

(コード：3109 東証第一部)

2021年12月22日



1. 上場維持基準の適合状況 および 計画期間
2. 上場維持基準の適合に向けた課題 および 基本方針
3. 長期ビジョン
4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容

〔次期中期経営計画（骨子）〕

- (1) 2025年3月期 連結計画数値
- (2) 全社の基本方針
- (3) セグメント別事業戦略
- (4) 株主還元施策

1.上場維持基準の適合状況 および 計画期間



【上場維持基準の適合状況】

	プライム市場上場維持基準	当社の一次判定結果	適合状況
株主数	800人以上	10,904人	○
流通株式数	20,000単位以上	96,778単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	92.3億円	×
流通株式比率	35%以上	81.9%	○
1日平均売買代金	0.2億円以上	0.6億円	○

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」について基準を充たしておりません。

【計画期間】

当社グループは現在、2023年3月期を初年度とした次期中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の策定を進めております。次期中期経営計画における取組を着実に実行することにより、次期中期経営計画期間の最終年度である2025年3月期までに上場維持基準への適合を図ってまいります。なお、次期中期経営計画の発表は2022年3月を予定しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた課題

および 基本方針



【課題】

「流通株式時価総額」に関する基準の適合にあたり、当社グループは、持続的成長により企業価値を向上させるとともに、積極的な情報開示により、株式市場で適正な評価を得ることが課題であると認識しております。

【基本方針】

当社グループは、次期中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）を策定し、その取組内容を確実に達成することで、企業価値の向上を図ってまいります。また、その取組の中で、サステナビリティへの施策の充実を図ってまいります。さらに、コーポレート・ガバナンスの一層の充実、IR活動の推進により情報開示の充実を図り、持続的成長と中長期的に企業価値を向上させることで、流通株式時価総額の向上を目指してまいります。併せて、事業法人等が保有されている株式について、非流通株式から流通株式への移行を促進し、流通株式を増加させる取組も進めてまいります。



流通株式時価総額 100億円超



Mermaid2042

あなたにもっと寄り添い、
愛されるシキボウグループへ

従業員にもっと寄り添い、笑顔あふれる心豊かな人生の実現に貢献します

お客様にもっと寄り添い、まだ見ぬ世界を当たり前にする技術で貢献します

地球にもっと寄り添い、持続可能な社会に貢献します



Mermaid2042

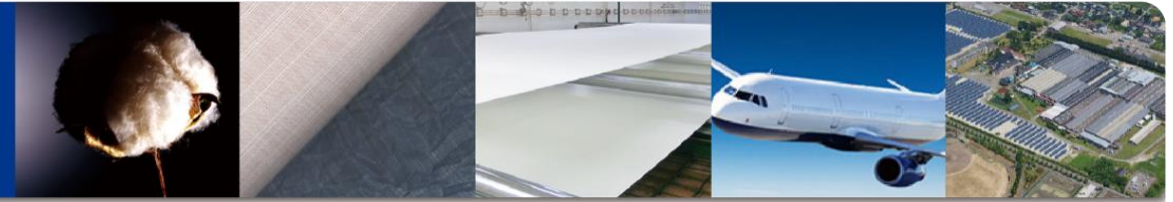
- 激しく変化し、不確実で先が読みにくい事業環境において成長を続けていくために、当社グループの存在価値や目指すべき方向性、ありたい姿を社内外に示す必要があると考え、当社の節目である創立150周年にあたる2042年をターゲットとした長期ビジョンを策定いたしました。
- あらゆるステークホルダーに対して、今以上にもっと相手の立場や要望・要請を受け止め、それを上回る価値を提供することにより、一人でも多くの人や企業にファンになってもらえる企業グループを目指します。



Mermaid2042

従業員にもっと寄り添い、笑顔あふれる心豊かな人生の実現に貢献します

- 従業員自身が当社グループの製品・サービスに愛着を持ち、会社の一番のファンでなければ他のステークホルダーにファンになってもらうことなどできません。
- 顧客第一でお客様にもっと寄り添い、誇りをもって製品・サービスを提供するためにも、従業員がいきいきと充実して働くことができ、また人生設計に応じた柔軟な働き方が可能な職場環境づくりを目指します。



Mermaid2042

お客様にもっと寄り添い、まだ見ぬ世界を当たり前にする技術で貢献します

- 当社グループの技術でお客様の想像や満足を超える価値を提供し、当社グループの価値感に共感してファンになってもらえる企業、顧客を増やすことを目指します。

地球にもっと寄り添い、持続可能な社会に貢献します

- 当社グループがこれまで培ってきたモノづくりの技術・文化で、すべての製品・サービスを通して地球環境にやさしく、社会に貢献することを目指します。

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(1) 2025年3月期 連結計画数値

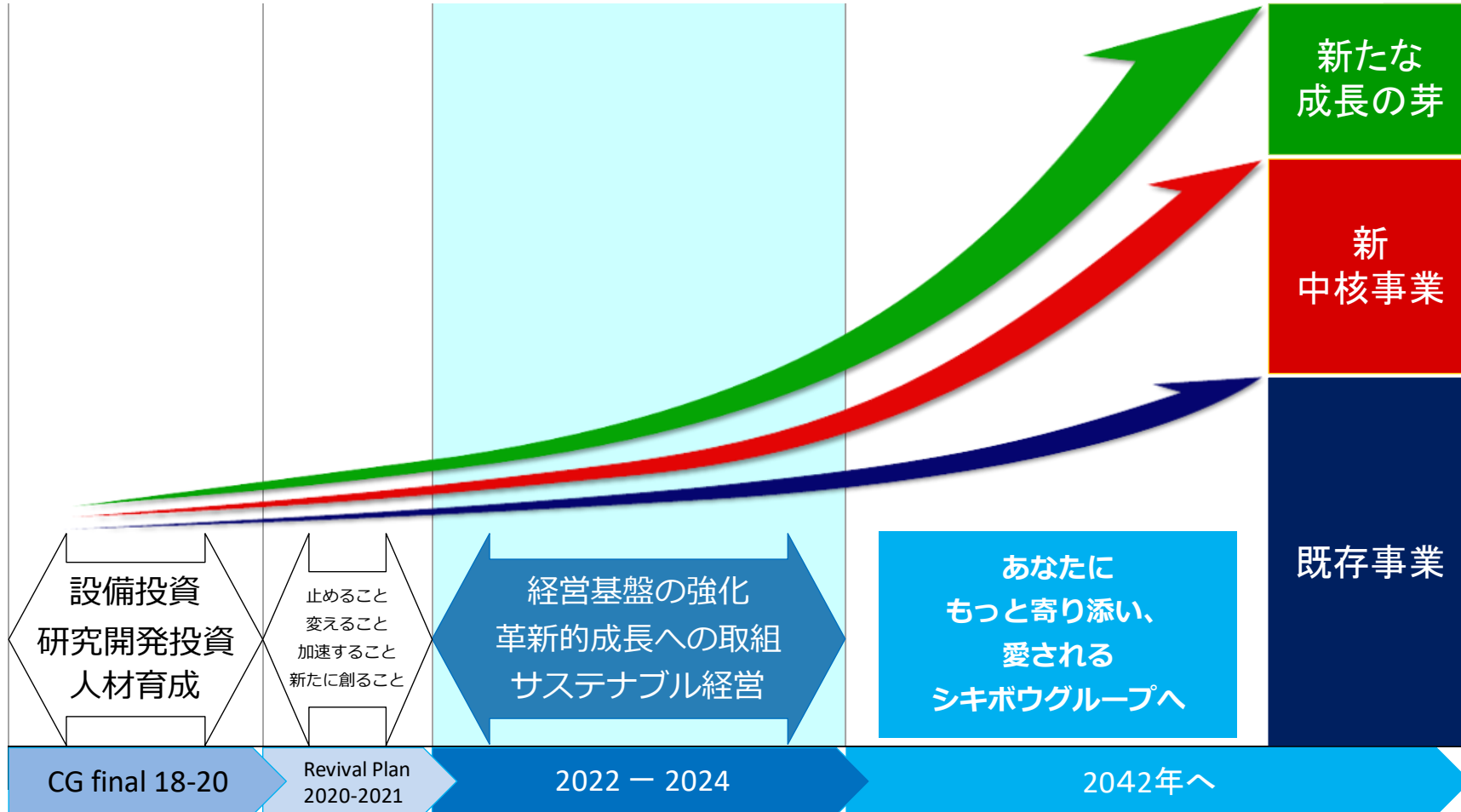
	2021年3月期 実績値	2022年3月期 予想値	2025年3月期 計画数値	2022年3月期 予想値比
売上高	335億円	354億円	420億円	+6.6億円
営業利益	12億円	16億円	25億円	+9億円
親会社株主に 帰属する 当期純利益	0億円	8億円	15億円	+7億円

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(2) 全社の基本方針

 Mermaid2042



4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(2) 全社の基本方針

1 経営基盤の強化

- 新中核事業と位置付ける化成品事業・複合材料事業のさらなる事業規模の拡大
- 新たな市場展開に向けた設備投資（化成品事業、リネンサプライ事業）
- 新規用途・新規市場開拓による顧客の増大
- 国内・海外のグローバルネットワークの連携強化による海外市場の開拓

4.上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(2) 全社の基本方針

1 経営基盤の強化

- 資本効率を重視した既存事業の稼ぐ力の向上と事業ポートフォリオの見直し
- さらなる財務基盤の強化
- 従業員の計画的育成による人的資本の充実
- 生産性・業務効率向上のためのデジタル投資

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(2) 全社の基本方針

2 次の革新的成長に向けた取組

- 新中核事業に続く新たな成長の芽の育成と研究開発の推進
- グローバル展開、成長領域への展開を支えるための多様な人材の確保と育成

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(2) 全社の基本方針

3 サステナブル経営への取組

- 地球環境に配慮した製品や社会課題を解決する製品のさらなる開発と販売強化
- カーボンニュートラル社会実現に寄与する設備投資
- 従業員エンゲージメント向上に向けた、やりがいや働きがいのある職場・制度づくり

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(3) セグメント別事業戦略

1. 繊維セグメント

繊維	基本戦略	セグメント内外での垂直・水平連携を強化し、生産・販売・開発技術による総合力を高め、業績向上を目指す
	個別戦略	<ol style="list-style-type: none">1. 既存市場の変化に対応した新規商材開発ならびに既存商品の用途開発による新規市場開拓の促進2. 分野の垣根を超えた営業活動と生産基盤の活用をグループ一体で行う3. グローバルネットワークの連携強化による海外販売の拡大4. 環境配慮型商材の開発と販促強化

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(3) セグメント別事業戦略

2. 産業材セグメント

産 資 業 材	基本戦略	大きく変化した市場環境に対応した販売体制と生産体制への変革を進め、収益力の維持向上を目指す
	個別戦略	<ol style="list-style-type: none">1. 国内市場におけるトップシェア維持2. 海外販売の拡大と収益力向上3. 市場に合わせた生産体制・設備の整備4. 当社固有の技術・製品・設備が活用できる新規市場の創出5. 環境配慮型商品の開発と販売戦略構築

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(3) セグメント別事業戦略

2. 産業材セグメント

基本戦略 長期ビジョン“Mermaid 2042”を見据えて成長ある実行計画を推進

機 能
材 料

個別戦略

1. 化成品事業

「植物由来の安心・安全な食品添加物」で人々の暮らしに貢献するために、生産体制を再構築し、販路を拡大する

2. 複合材料事業

「軽くて強い」複合材料で、エネルギー産業に貢献するために、組織基盤を強化し研究開発体制の強化と市場開拓を推進する

4. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(3) セグメント別事業戦略

3. 不動産・サービスセグメント

基本戦略 アフターコロナを見据えた安定収益基盤の維持・拡充

不動産・
サービス

- 個別戦略**
1. 不動産（賃貸）事業
既存設備・資産の価値維持と遊休資産の有効活用推進
 2. リネンサプライ事業
コロナ禍からの本格回復と大阪万博を見据えた事業拡大のための設備更新と増強

4.上場維持基準の適合に向けた取組内容 〔次期中期経営計画（骨子）〕



(4) 株主還元施策

【基本方針】

- 当社は、株主の皆様への適正な利益還元を経営の最重要課題の1つとし、利益配分については、安定的な配当の継続を基本方針として、連結業績や今後の事業展開を総合的に勘案して決定しております。
- 次期中期経営計画の推進により、経営基盤の強化と次の革新的成長に向けた取組の充実を図り、さらなる増配を目指します。

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、不確実な要因やリスクも含まれております。そのため、実際の結果は記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おき願います。



シキボウ株式会社